

**令和元年度
学校評価
(自己点検・自己評価)**

報告書

**学校法人 健生学園
東日本医療専門学校**

1. 教育目標

次に掲げる事を本学の教育目標とし、次代を担う柔道整復師・鍼灸師の育成に精励する所存である。

- ・伝統医療を継承しつつ現代の時代のニーズにあった人材育成を目指す。
- ・幅広いフィールドで即戦力となる人材の育成を目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1)生徒募集活動の充実

2)国家試験対策の強化

- ・国家試験対策授業の実施、模擬試験の実施
- ・模擬認定実技審査の実施
- ・各種セミナーの開催

3)施設・設備

- ・校舎周りの整備
- ・トレーニング室の機器の修繕、付属品の補充

3. 評価項目の達成および取組状況

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	
学校における職業教育の特色は何か	4	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・未来構想などが学生や保護者に周知されているか	3	
各学科の教育目標・育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	

【課題】

- ・本校の教育理念や人材育成像、独自の特色などの浸透を図るため、ホームページやパンフレット、SNS等を活用し、継続した広報活動の実施が必要と考えられる。
- ・昨今の社会問題(少子高齢化、医療費高騰など)や企業のニーズに鑑みて、定期的に教育内容について検討していく必要がある。

【今後の改善方策】

- ・ホームページやパンフレットだけでなく、SNSを活用して本校の特色(教育理念、人材育成像等)を学校外の関係者へ発信し、さらなる浸透を図る。
- ・教育目標や育成人材像については、企業等と連携を取り、社会や企業が求めるニーズとの適合性を適宜検討していく。

【特記事項】

- ・オープンキャンパスにおいて、昨年度の反省点を踏まえ、本校の特色が伝わるように内容の見直しを行った。
- ・業界や社会経済ニーズに鑑みて、国家資格取得者を対象とする、より実践的な教育を行うための新規コースの開設準備を行っている。
- ・新たなスポーツトレーナー関連資格の認定校取得について検討している。

2. 学校運営

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
目的に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事や給与に関する規定は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

【課題】

- ・新しい人材の確保、育成への取組。
- ・業務の引継ぎが不十分である。
- ・業務量に偏りがある。

【今後の改善方策】

- ・現状に合わせ、規則等の見直しを図る。
- ・事業計画の策定について十分な準備と時間が必要である。
- ・通勤手当の非課税限度額変更に伴い賃金規定を変更する。
- ・業務内容を共有し、休職・退職に対し迅速に対応する。

【特記事項】

- ・実践研究科開設準備。
- ・柔道整復科(夜間部)最終年度。
- ・企業主導型保育園(ダヴィンチ英智保育園)4/1開園。

3. 教育活動

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップや実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務含む）を確保するなどのマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識や技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

【課題】

- ・大学、医療機関、接骨院等で活躍している先生を講師に招き授業を行っているが、さらなる職業教育の充実を検討しなければならない。
- ・各種セミナー等に参加して先端的知識や技能の習得に努めてはいるが、体系的な取組ができるようにしなければならない。

【今後の改善方策】

- ・さらなる職業教育の充実のために、将来的なインターンシップの導入や関連分野の企業等と連携した特別講義の実施などの導入を検討していきたい。
- ・教員の指導力の向上や先端的技能の修得のための研修等の充実を図る。

【 特記事項 】

- ・鍼灸スポーツ科学科では卒業認定実技試験を実施し、一定水準の実技能力を修得しているかを評価している。
- ・柔道整復スポーツ科学科では認定実技審査として、外部から審査員を招き、実技に関して外部評価を取り入れている。
- ・積極的に学外へのセミナーや救護活動等へ参加し、技術・知識の向上や習得を図っている。
- ・令和2年度より外部施設での臨地実習（インターンシップ）を実施するための準備を行った。

4. 学修成果

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
就職率の向上が図られているか	4	
資格取得率の向上が図られているか	3	
退学率の低減が図られているか	3	
卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	

【 課題 】

- ・学年別に学習指導計画を作成し、放課後の補習等を行い学力向上に取り組んでいるが、それでも勉強習慣の改善を果たせず、成績不良による中途退学が若干名存在している。
- ・卒業後の活躍や活動状況を詳細に把握するために、さらなる交流の充実が必要である。
- ・国家資格の取得がその後の就職状況に影響することから、就職活動に積極的でない学生が一部存在するため就職率への影響が懸念される。

【 今後の改善方策 】

- ・退学率の減少や就職率の向上のために、学習支援の拡充や学習意欲を高めるような行事を増やしたり、職場見学を励行し、職業への理解や進路の選択肢などを明示する。
- ・面談を通して学校生活上の悩み、不安を早期に把握し、その対策について助言をする。
- ・学友会との連携や、SNS等のツールを利用して、これまで以上に卒業生との交流の場を増やすことを検討する。

【 特記事項 】

- ・3年次に就職支援としてセミナーや企業説明会を開催している。
- ・学習支援として、国家試験対策補習や課題の配布、個別指導等を行い、学力向上に努めている。
- ・クラス担任との2者面談を年に数回実施し、学校生活(学習面や就職活動など)における話し合いを行っている。

5. 学生支援

評価項目	4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切
進路や就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取組が行われているか	3

【課題】

- ・在校生に於いては、生活環境面(学習、就職支援、学費納付等以外)の相談窓口が設置されておらず、また、それに対応する専門的な人材がない。
- ・進路や就職に関しては就職課が対応しているが、3年生の担任との連携をしっかりと取りながら、さらなる就職支援を検討する必要がある。

【今後の改善方策】

- ・卒業生支援の一環として、就職支援のために企業説明会の日程を告知したり、国家試験を再チャレンジする人に向けて国家試験対策の案内や国家試験に関する情報を開示する。

【特記事項】

- ・昨今の経済状況を考慮し、必要に応じて授業料納付に関する相談を受けている。
- ・年1回の学生健康診断の実施と感染症予防の啓発ならびに冬季には手指消毒液を昇降口付近に設置している
- ・就職支援では年1回の就職ガイダンスを行っており、また職員室前のロビーに企業様から頂いた求人票を常に関覧できる状態にして開示している。
- ・国家試験不合格者に対しては聴講生制度や国家試験対策セミナーへの参加、教員アドバイスのもと学習計画の設定などを行っている。また自習室の開放も行っている。

6. 教育環境

評価項目	4：適切 2：やや不適切	3：ほぼ適切 1：不適切
施設や設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	
学内外の実習施設・インターンシップ・海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
防災に対する整備はされているか	4	

【課題】

- ・さらに充実した臨床実習を行うために実習施設の目的や利用方法などの広報を検討し、実習施設の利用者数の増加を図る必要がある。
- ・今後、さらなる職業教育の充実のために学外インターンシップ等の実施を検討する必要がある。

【今後の改善方策】

- ・実習施設の利用者数を増やすために、広告等による広報活動を行う。
- ・トレーニング機器の経年劣化による不具合に対応するため、計画的な機器の保守、入れ替え等を検討する。

【特記事項】

- ・火災等を想定した避難訓練を実施している。
- ・トレーニングルームを設置し、運動指導に必要なトレーニング器具がそろっている。
- ・プロスポーツ研修を実施しており、施設やトレーナー業務の見学を行っている。
- ・外部のセミナーやボランティア活動等への参加を推奨し、在校生に積極的に広告している。
- ・プロスポーツ研修や各種インターンシップの拡充のため、企画や研修内容の見直しを行った。

7. 学生の受け入れ募集

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
学生募集活動は適正に行われているか		3
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか		3
学納金は妥当なものとなっているか		4

【課題】

- ・入学してからのミスマッチが、希少だが見受けられた。

【今後の改善方策】

- ・オープンキャンパスや SNS 等に於いて、当校の職種や資格難易度、将来の進路などを明確に説明し、勉学の重要性を伝えるとともに入学後のミスマッチが無いように正しい情報の発信を行う。

【特記事項】

- ・生徒募集では、必ず面談機会をつくり不安や疑問点について説明を行っている。
- ・学納金については、入学時の負担軽減のため、見直しと改正を行っている。

8. 財務

評価項目	4：適切 2：やや不適切	3：ほぼ適切 1：不適切
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		3
予算や収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		3
財務について会計監査が適正に行われているか		4
財務情報公開の体制整備はできているか		4

【課題】

- ・経営基盤は安定の域にあるものの、2020度事業にむけて計画的に準備を進める。
- ・助成金の支払い遅れにより、実質(保育園運営費を)立て替える状況が続いている。

【今後の改善方策】

- ・具体的目標を定め、経費削減に務める。
- ・新電力への切り替えを検討する。
- ・夜間部最終年度となり、光熱費、消耗品費を含む予算の適正化を図る。

【特記事項】

- ・毎年5月に監事や公認会計士による会計監査を行っている。
- ・毎年5月に私学・公益法人課 学校班の学校基本調査を受けている。

9. 法令等の遵守

評価項目	4：適切	3：ほぼ適切
	2：やや不適切	1：不適切
法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	
個人情報に関し、その保護のために対策が取られているか	3	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
自己評価結果を公開しているか	4	

【課題】

- ・自己評価結果における問題点については、その後の解決に向けての検証が不十分な項目がある。

【今後の改善方策】

- ・定期的に各科の会議において、問題項目について検討し、一時的でないようにする。
- ・ホームページや SNS 等のインターネットを介した情報発信が今後増加することが見込めるため、発信する情報が適切であるか等の検討やネットリテラシーに関する理解の向上を図る必要がある。

【特記事項】

- ・平成 27 年度より、学校評価委員会を設置。
- ・さらなる評価体制の強化のため、学校関係者評価委員会の設置に向けた準備を行っている。

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3
地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託を積極的に実施しているか	3

【課題】

- ・地域に対する公開講座が定期的な行事に組み込まれていない。
- ・ボランティア活動に参加する学生をさらに増やすため、推奨活動の継続が必要である。

【今後の改善方策】

- ・地域貢献活動の計画的な活動を推進する為、早期に案内し学校行事やアルバイトと重ならないように積極的に参加できるように環境を整備する。
- ・地域貢献活動となるような行事の設定を検討する。

【特記事項】

- ・地域イベントの開催に対し、無償での駐車場の貸し出しを行っている。
- ・附属施術所(はり・きゅう・柔道整復)にて一般外来患者を受け入れている。
- ・派遣依頼を受けて各種スポーツ大会への救護係の派遣を行っている。